

# 山形県にサクランボを 定着させたのは誰か？

6月14日(土)

令和7年  
13:30～15:30



事前申込制(先着順)

申込期間

5月27日(火)～6月8日(日)



山形県内でのさくらんぼの栽培開始から今年で150年。本講演では当時の産業の姿と合わせて、明治8年前後のさくらんぼの導入に向けた動きやさくらんぼの試験栽培から普及、そして定着に至るまでの動向について解説します。



- ・会場：山形県立博物館(本館講堂)
- ・講演会のみ参加の場合でも、入館料が必要です。(大人：300円 学生150円 高校生以下は無料)
- ・お申し込みは当館HP(下記QRコード)よりお申し込みください。



講師 小幡 圭祐 氏

山形大学人文社会科学部 准教授

2015年東北大学で博士(文学)取得。  
2019年山形大学人文社会科学部准教授。  
歴史学(日本近現代史)・地域アーカイブズ学・サーカス学などを専門とし、近年は「山形県サクランボ史事始め」(『山形史学研究』50、2022年)などさくらんぼ栽培の歴史に注目した研究に取り組んでいる。